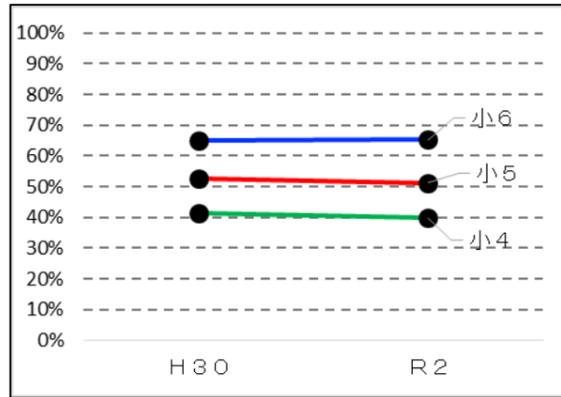


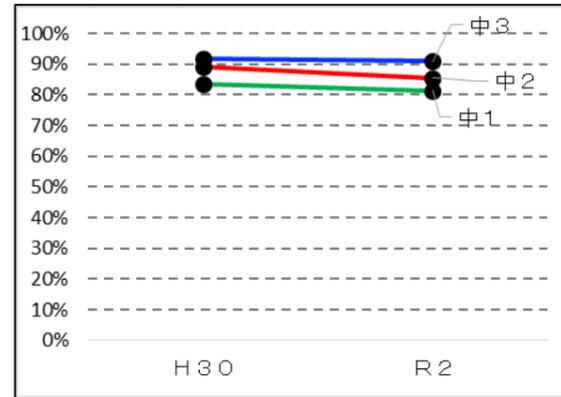
実態	スマートフォン・携帯電話の利用内容
	【質問5】スマートフォンや携帯電話を利用してどのようなことをしていますか（複数回答）。

	小4	小5	小6	小全体	中1	中2	中3	中全体
1 家族との通話	78.2%	79.9%	81.0%	79.7%	78.9%	79.2%	75.5%	77.9%
2 友だちとの通話	56.4%	64.3%	70.0%	63.7%	81.5%	83.2%	81.7%	82.1%
3 メールやメッセージ	57.0%	57.9%	60.5%	58.5%	67.3%	70.5%	69.4%	69.1%
4 SNSを利用したコミュニケーション (LINEやフェイスブック、ツイッターなど)	39.8%	51.2%	65.2%	52.3%	81.3%	85.4%	91.0%	85.8%
5 オンラインゲーム	43.0%	52.8%	57.1%	51.1%	58.0%	64.3%	65.5%	62.5%
6 写真や動画の撮影	44.1%	50.4%	53.8%	49.5%	66.1%	71.2%	70.4%	69.1%
7 写真や動画の投稿	7.4%	12.2%	9.7%	9.8%	19.9%	24.4%	29.8%	24.5%
8 ブログの公開	2.4%	3.2%	2.4%	2.7%	3.2%	5.4%	6.6%	5.0%
9 音楽を聴いたり動画などを見たりする	72.5%	79.6%	86.3%	79.6%	91.2%	92.4%	93.6%	92.4%
10 音楽や動画などのダウンロード	21.1%	25.1%	24.5%	23.6%	27.5%	36.8%	37.2%	33.7%
11 電子書籍を見る	12.0%	11.1%	17.3%	13.5%	15.9%	23.3%	26.6%	21.8%
12 電子書籍のダウンロード	6.0%	6.6%	8.1%	6.9%	6.1%	7.4%	9.3%	7.5%
13 調べもの	62.4%	71.5%	79.0%	71.1%	85.1%	85.3%	86.6%	85.7%
14 買い物やチケットの予約	15.0%	15.9%	17.0%	16.0%	20.4%	30.9%	41.3%	30.6%
15 わからない	1.9%	0.7%	0.6%	1.0%	0.8%	0.7%	0.9%	0.8%

【小学生】SNSなどの利用



【中学生】SNSなどの利用



「SNSサイトを利用したコミュニケーション」については、H30調査においても高い割合となっていました。今回の調査でも、同様に高い割合となっています。依然、多くの児童生徒が、SNSサイトを利用している実態がうかがえます。

実態	SNSの利用
	【質問6】どのようなSNSを利用していますか。（複数回答）

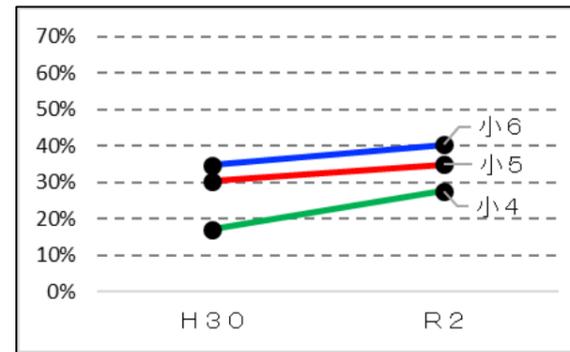
	小4	小5	小6	小全体	中1	中2	中3	中全体
1 ライン (LINE)	34.5%	46.9%	60.8%	47.7%	79.2%	83.0%	89.2%	83.6%
2 フェイスブック (Facebook)	2.9%	3.8%	5.5%	4.1%	6.7%	8.5%	10.3%	8.4%
3 ツイッター (Twitter)	8.7%	12.1%	20.0%	13.7%	29.2%	43.1%	56.3%	42.4%
4 インスタグラム (Instagram)	7.6%	11.1%	15.4%	11.5%	34.4%	51.6%	61.6%	48.8%
5 ユーチューブ (YouTube)	29.1%	41.5%	53.0%	41.4%	64.6%	75.2%	81.8%	73.6%
6 ティックトック (TikTok)	20.2%	26.8%	34.8%	27.4%	46.5%	52.1%	50.9%	49.8%
7 ほかのアプリ・サイト	10.7%	12.9%	14.5%	12.7%	16.9%	17.3%	17.7%	17.3%

小・中学生ともに、「ライン (LINE)」の利用率が最も高く、学年が上がるにつれて増加する傾向が見られるとともに、中学校3年生では約90%の生徒が利用していることがわかります。また、「ユーチューブ (YouTube)」の利用率が高いほか、中学生では、「ツイッター (Twitter)」、「インスタグラム (Instagram)」、「ティックトック (TikTok)」など、多様なSNSサイトを利用していることがわかります。

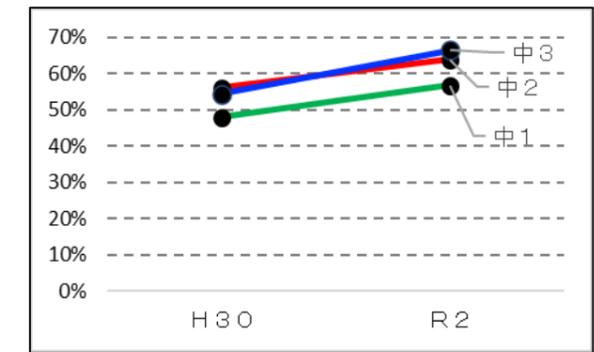
実態	スマートフォン・携帯電話の利用時間
	【質問7】平日1日にどのくらいの時間、スマートフォン・携帯電話などを利用しますか。

	小4	小5	小6	小全体	中1	中2	中3	中全体
1 使っていない	8.8%	6.9%	5.1%	6.8%	2.9%	1.1%	2.2%	2.0%
2 30分未満	30.6%	23.0%	15.5%	22.7%	7.2%	4.8%	3.0%	5.1%
3 30分以上1時間未満	16.2%	17.7%	15.3%	16.4%	9.7%	9.9%	5.8%	8.5%
4 1時間以上2時間未満	15.8%	16.8%	23.6%	18.9%	23.1%	20.2%	22.7%	22.0%
5 2時間以上3時間未満	10.2%	14.3%	15.0%	13.3%	21.5%	25.2%	27.4%	24.6%
6 3時間以上4時間未満	8.3%	9.5%	8.9%	8.9%	17.0%	16.1%	15.4%	16.2%
7 4時間以上5時間未満	3.6%	5.1%	7.0%	5.3%	7.1%	10.6%	9.5%	9.0%
8 5時間以上	5.5%	6.0%	9.4%	7.1%	11.3%	12.1%	14.2%	12.5%

【小学生】2時間以上の利用



【中学生】2時間以上の利用



小学生全体では、「0～2時間未満」に回答が集中していますが、学年が上がるにつれて利用時間が増加していることがわかります。特に、小学校6年生においては、「5時間以上」と回答した児童が10%近くいます。

中学生全体では、「1～3時間未満」に回答が集中していますが、「3時間以上」利用している生徒の割合が約38%となっており、スマートフォンや携帯電話を長時間利用していることがわかります。

実態	スマートフォン・携帯電話利用のトラブル等の経験
	【質問8】スマートフォンや携帯電話などを利用して、次のような経験をしたことがありますか。（複数回答） 【保護者質問6】お子さんがスマートフォン・携帯電話を利用して、次のような経験をしたことがあると思いますか。（複数回答）

	小学生	小・保護者	中学生	中・保護者
1 知らない人とメールやメッセージ (LINEなども含む) のやりとりをしたことがある	6.5%	3.0%	21.1%	9.1%
2 インターネット上に自分の情報や写真をのせたことがある	3.8%	3.1%	17.7%	7.1%
3 他人の情報や写真を、インターネット上に勝手にのせたことがある	0.5%	0.2%	1.5%	1.6%
4 自分の情報や写真を、インターネット上に勝手にのせられたことがある	2.0%	1.3%	5.4%	3.5%
5 メールや掲示板、ブログなどで悪口を書かれたことがある	1.4%	1.1%	4.5%	3.9%
6 親に話にくいサイトを見たことがある	2.9%	3.0%	7.5%	3.5%
7 架空請求をうけたことがある	1.2%	0.1%	4.2%	0.6%
8 メールやインターネットにのめり込んで勉強に集中できなかったことがある	8.9%	8.6%	30.6%	22.1%
9 ゲームやアプリを使用するのに、お金を払ったことがある	13.9%	5.5%	21.4%	9.7%
10 その他に困ったことやトラブルにあったことがある	2.8%	0.9%	3.4%	2.1%
11 あてはまるものはない	66.6%	73.9%	35.5%	52.0%

小学生全体では、「あてはまるものはない」と回答した児童が66.6%であるのに対し、中学生全体では、35.5%となっており、H30調査同様に、中学校段階で多くのトラブルに遭遇していることがわかります。

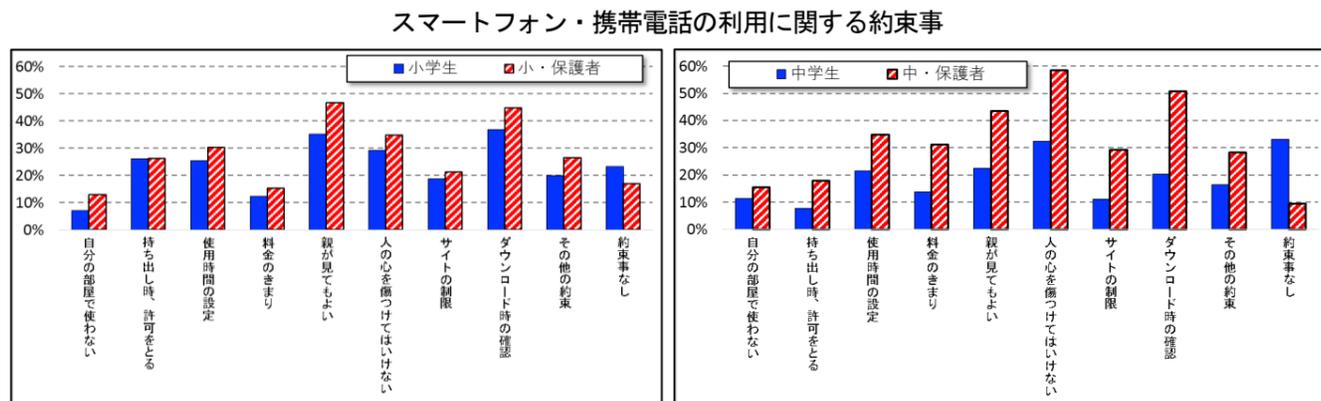
特に中学生では、「知らない人とのメールやメッセージ (LINEなども含む) のやりとりをしたことがある」の項目で、21.1%の生徒が経験あり、と回答しているのに対し、9.1%の保護者が経験をしたことがあると思う、という回答となっています。

また、「ゲームやアプリを使用するのに、お金を払ったことがある」という、いわゆる「課金」の項目においても、21.4%の生徒が経験あり、と回答しているのに対し、保護者は9.7%の回答となっていることから、生徒の利用実態と保護者の認識に大きな違いがあることがわかります。

実態	スマートフォン・携帯電話利用に関する約束							
	【質問10】スマートフォンや携帯電話などを利用するにあたって、家の人と約束していることがありますか。(複数回答)							
	小4	小5	小6	小全体	中1	中2	中3	中全体
1 自分の部屋で使ってはいけない	4.9%	8.9%	7.1%	7.0%	12.8%	11.5%	9.7%	11.4%
2 家から持ち出すときは家族に伝える	30.3%	28.4%	20.5%	26.1%	10.9%	7.6%	4.7%	7.8%
3 使える時間が決まっている	24.4%	25.4%	26.0%	25.3%	26.8%	20.7%	16.7%	21.5%
4 料金のきまりがある	12.6%	13.5%	11.2%	12.4%	14.0%	14.3%	13.2%	13.8%
5 スマートフォンや携帯電話などを家族が見てもよい	35.5%	35.5%	34.5%	35.2%	28.1%	22.1%	16.5%	22.4%
6 メールやSNSなどで人の心を傷つけてはいけないと言われている	23.3%	33.5%	30.4%	29.1%	34.2%	36.2%	26.4%	32.3%
7 見てはいけないサイトなどが決まっている	18.5%	20.5%	17.5%	18.8%	13.7%	12.6%	7.0%	11.2%
8 ゲームやアプリ・音楽などをダウンロードするときには、家族に確認する	35.8%	39.8%	35.2%	36.8%	27.2%	20.1%	13.1%	20.4%
9 その他にも、してはいけない約束がある	19.1%	20.5%	20.0%	19.9%	19.4%	16.6%	13.3%	16.5%
10 約束事は特になし	24.1%	21.3%	24.5%	23.4%	25.8%	32.1%	42.5%	33.2%

小学生では、「スマートフォンや携帯電話などを親が見てもよい」と回答した児童が35.2%となっており、中学生の22.4%と比べて高い割合となっています。また、「家から持ち出すときは親に伝える」と回答した児童が26.1%、中学生で7.8%となっており、小学生に対して保護者が積極的に関与していることがうかがえます。

一方、中学生では、「約束事は特になし」と回答している生徒が33.2%となっており、H30調査同様、約3分の1の生徒が保護者の関与なく、スマートフォンや携帯電話を自由に利用していることがわかります。中学生では、学年が上がるにつれて約束事が少なくなっており、生徒の成長とともにスマートフォンや携帯電話などの利用について、子供自身の判断に委ねている実態がうかがえます。



中学生の保護者の回答では、「人の心を傷つけるようなメールやメッセージを送らない」が58.5%、次いで「ゲームやアプリ・音楽などをダウンロードするときには、親に確認する」が50.8%、「スマートフォンや携帯電話などを親が見てもよい」が43.6%となっており、保護者が子供のスマートフォンや携帯電話などの使用に関して、積極的に関与している認識が高いと思われます。しかし、生徒の回答とは開きが大きく、「約束事は特になし」の項目においても、保護者が9.6%に対し、生徒は33.2%の回答であることから、保護者が約束していると認識していることを、生徒が約束事として意識していない実態が考えられます。

今回の調査では、「H30調査」と比較して、スマートフォンや携帯電話などの所持率の上昇とともに所持の低年齢化がさらに進んでいることが明らかになりました。併せて、学年が上がるにつれて、スマートフォンや携帯電話などの利用時間が増えるとともに、インターネットやSNSでのトラブルが増加している実態も明らかになりました。今後もスマートフォンや携帯電話などの利用の仕方等について、早い時期から、家庭で話し合っ約束事を設けるとともに、情報モラル教育をはじめとする様々な機会を通じて、スマートフォンや携帯電話などとの上手な付き合い方について、児童生徒自らが考え、学ぶ機会の充実を図るなど、学校・家庭・地域が一体となって取組を進めていくことが大切です。

「スマートフォン・携帯電話などの利用に関するアンケート調査結果について」の報告書は、釧路市ホームページに掲載しております。ぜひご覧ください。

スマートフォン・携帯電話などの利用に関するアンケート調査結果について<概要版>

釧路市生徒指導推進協議会・釧路市教育委員会

【調査目的】
本調査は、釧路市生徒指導推進協議会と釧路市教育委員会とが連携し、釧路市内小・中学生のスマートフォンや携帯電話などの利用状況を把握し、これらに起因する問題行動、事件・事故等への対策や今後の情報モラル教育の充実を図るための基礎資料とするとともに、各学校、保護者の皆様に、指導・啓発や安全対策の参考として活用していただくことを目的に実施しました。

【実施時期】
令和2年12月実施

【調査方法】
無記名による質問紙アンケート

【調査対象】
(1) 児童生徒 釧路市内小学校4年生～中学校3年生
(2) 保護者 釧路市内小学校4年生～中学校3年生の保護者

【調査回答者数】
(1) 児童生徒 6,859人(小学生 3,509人 中学生 3,350人)
(2) 保護者 3,333人(小学生保護者 1,730人 中学生保護者 1,603人)

実態 スマートフォン・携帯電話の所持

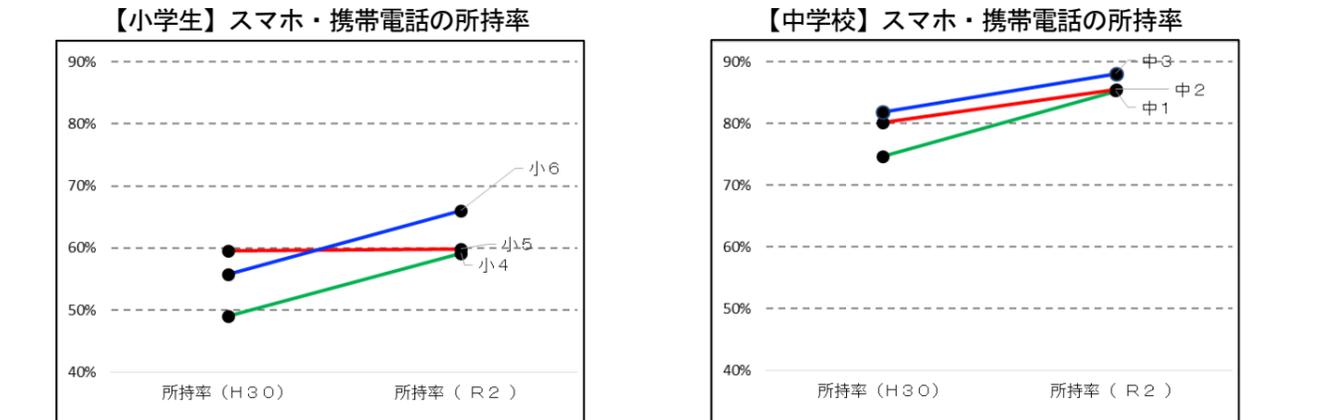
【質問1】あなたは、次の通信機器を持っていますか。

	小4	小5	小6	小全体	中1	中2	中3	中全体
1 スマートフォン	25.1%	32.6%	45.0%	34.3%	75.8%	79.1%	83.7%	79.4%
2 機能限定スマートフォンや子ども向けスマートフォン	7.6%	5.2%	4.3%	5.7%	1.6%	0.5%	0.0%	0.7%
3 携帯電話の契約切れのスマートフォン	10.7%	7.7%	8.4%	8.9%	5.2%	4.4%	3.2%	4.3%
4 携帯電話（PHSを含む）	0.9%	1.6%	1.4%	1.3%	0.3%	0.5%	0.2%	0.3%
5 機能限定携帯電話や子ども向け携帯電話（PHSを含む）	14.8%	12.7%	6.9%	11.4%	2.4%	0.9%	0.9%	1.5%
6 持っていない	40.9%	40.2%	34.0%	38.3%	14.7%	14.5%	11.9%	13.8%

	小4	小5	小6	小全体	中1	中2	中3	中全体
所持率（H30）	49.0%	59.5%	55.8%	55.0%	74.7%	80.2%	81.8%	79.0%
所持率（R2）	59.1%	59.8%	66.0%	61.7%	85.3%	85.5%	88.1%	86.2%

通信機器所持の割合では、「平成30年度携帯電話等に関するアンケート調査」（以下「H30調査」）と同様、学年が上がるにつれて、スマートフォンや携帯電話を所持する割合が高くなっています。

また、小学校4年生段階で、半数以上の児童がスマートフォンまたは携帯電話を持っている状況から、スマートフォンや携帯電話の所持についてさらに低年齢化が進んでいると考えられます。



「H30調査」との比較では、全ての学年において所持率が高まっているとともに、中学生の所持率は、全ての学年で85%以上の高い割合となっています。